

AVANT

# AVANT 決算・経営説明会

---

株式会社アバント  
(証券コード3836 東証1部)

2019年 8月6日

- I. 2019年6月期の決算概要
- II. 2020年6月期の業績予想
- III. 株主還元策
- IV. 中期経営計画の進捗&Update
- V. 質疑応答

当資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略などに関する情報は、当資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で行った判断に基づくものです。しかしながら実際には、通常予測し得ないような特別事情の発生または通常予測し得ないような結果の発生などにより、資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおります。当社は、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めてまいります。当資料記載の業績見通しのみにより全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願いいたします。なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複製または転送などを行わないようお願いいたします。

# I-1. 2019年6月期の業績ハイライト

AVANT

売上高  
過去最高水準

140.7  
億円

対前期比

+16.2%

営業利益  
過去最高水準

19.6  
億円

対前期比

+20.5%

当期利益  
過去最高水準

13.1  
億円

対前期比

+24.0%

# I-2. 2019年6月期 事業セグメント別

AVANT

- **連結会計関連**：大型案件について受注損失引当金を計上したが、その他案件では品質改善に努めセグメント全体では増益、営業利益率も改善
- **ビジネス・インテリジェンス**：大型案件の受注により売上高は大幅増。収益性の高い元請け案件の比率を高めるなどで人員増加に伴う費用増を吸収し、収益性は大きく改善
- **アウトソーシング**：売上ベースの多様化を推進。増収効果により新オフィスの開設などの費用増を吸収し、高水準の増益を達成

(単位:百万円)

		2018年6月期	2019年6月期	前期比	
				増減額	増減率
連結会計関連	売上高	7,261	8,034	+ 773	+ 10.6%
	営業利益	1,030	1,293	+ 263	+ 25.5%
	営業利益率	14.2%	16.1%	-	+ 1.9 point
ビジネス・インテリジェンス	売上高	3,953	4,990	+ 1,036	+ 26.2%
	営業利益	324	636	+ 311	+ 96.1%
	営業利益率	8.2%	12.8%	-	+ 4.5 point
アウトソーシング	売上高	1,313	1,629	+ 316	+ 24.1%
	営業利益	213	318	+ 104	+ 48.9%
	営業利益率	16.3%	19.5%	-	+ 3.3 point

# I-3. 2019年6月期 財務・CF概況

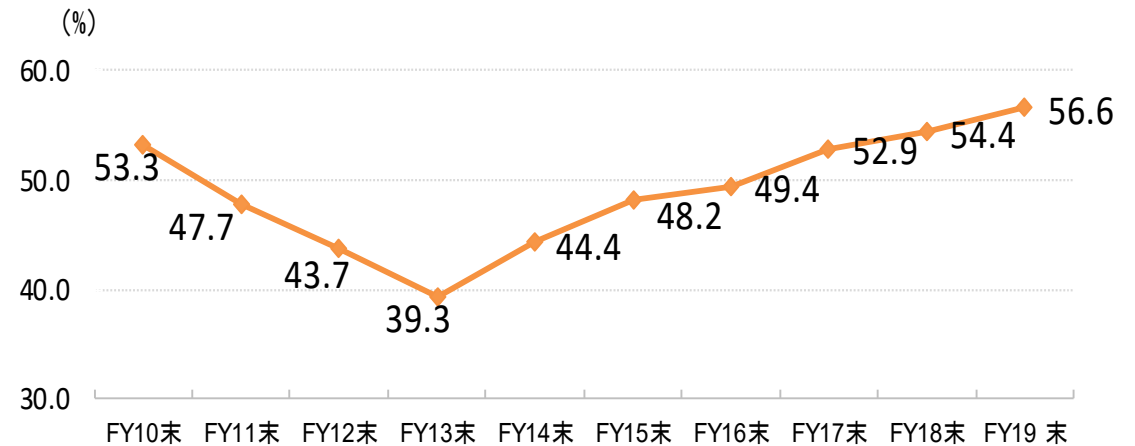
## 財務状況

資産  
104億円

負債  
45億円

純資産  
59億円

## 自己資本比率の推移



## キャッシュフロー

(単位: 百万円)

	2018年 6月期	2019年 6月期
営業CF	1,159	1,320
投資CF	△353	△455
財務CF	△184	△232
フリーCF	805	864

## 主な増減の要因

・ 税金等調整前当期純利益	2,003百万円
・ 売上債権の増加	△512百万円
・ 引当金の増加額	242百万円
・ 前受収益の増加	182百万円
・ 減価償却費	167百万円
・ 法人税等の支払額	△792百万円

・ 保証金の差入	△215百万円
・ 有形固定資産の取得	△127百万円

・ 配当金の支払額	△225百万円
-----------	---------

## Ⅱ. 2020年6月期の業績予想

AVANT

～売上・利益共に高成長続く～

- 連結会計関連事業では大型案件が収束するため二桁増収は見込めないが、ビジネス・インテリジェンス事業及び・アウトソーシング事業は順調に推移し、全体でも二桁台の増収は確保できる見通し
- 各事業で成長投資は見込むものの、営業利益率は前期と同水準を維持

売上高  
154.8  
億円

営業利益  
21.6  
億円

当期利益  
13.5  
億円

対前期比

+10.0%

対前期比

+10.1%

対前期比

+2.7%

# Ⅲ. 株主還元策

- 2019年6月期については、1株当たり15円 (対前期比3円、25%増)
- 2020年6月期は、対前期比3円増配して1株当たり18円と予想

## 1株当たり配当金の推移(株式分割の効果調整後)

	2012年6月期	2013年6月期	2014年6月期	2015年6月期	2016年6月期	2017年6月期	2018年6月期	2019年6月期
	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
1株当たり配当金(円)	1.0	2.25	6.75	4.5	5.5	8.0	12.0	15.0
純資産配当率 当社	1.30%	2.48%	5.84%	3.25%	3.41%	4.18%	5.20%	5.27%
(参考)東証上場企業平均	2.24%	2.28%	2.39%	2.43%	2.64%	2.78%	2.85%	2.94%

出所:日本証券取引所グループ統計月報より作成; 2018年の上場企業平均純資産配当率については、2017年6月から2018年5月までの12ヵ月で算出

# IV. 中期経営計画の進捗&Update

AVANT Group FY2020

---

～事業方針説明～

2019.08.06

代表取締役 グループCEO  
森川 徹治



## 100年企業の創造

100年企業の創造とは、良質な雇用を創造する活動です。

< BE GLOBAL >

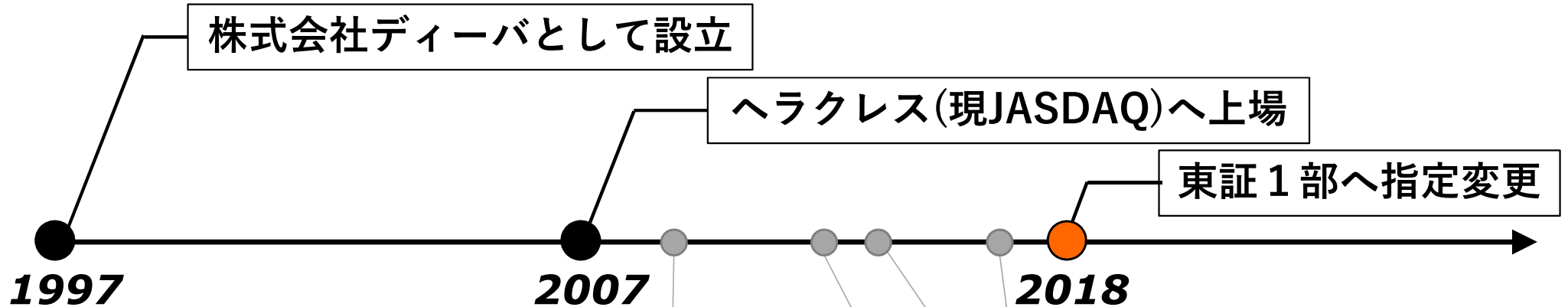
世界に通用するソフトウェア企業となる

当社グループは

- ✓ CIFO ACCELERATORとして
- ✓ 世界に通用する知的財産（ソフトウェア）を持つ
- ✓ 高付加価値企業となる

ことを志向して事業活動に取り組んで参ります。

## AVANT Groupは次の10年へ



連結決算義務化、J-SOX

グループ経営の拡大

CFOの役割の進化・変革



連結決算ソフトウェア  
メーカーとして成長。  
国内シェアNo.1を獲得



持株会社制へシフトし、  
自らもグループ経営を  
実践しながら成長

**AVANT Group**  
お客様のCIFO組織の  
改革・課題解決を支援する  
**CIFO ACCELERATOR**

グループ一丸となり、  
新たなる価値創造を  
実現するフェーズへ

# 経営情報の大衆化

## CIFO ACCELERATOR

当社グループは、私たちのミッションである「経営情報の大衆化（経営情報を未来の地図に変えていく）」を実現すべく、ソフトウェアを用いて企業のCFO（最高財務責任者）組織のデジタル・トランスフォーメーションを推進しています。

当社グループは、デジタル化された情報を操り、企業の意志決定を支える現代のCFOを「CIFO」と呼称し、“見える化”・“使える化”・“任せる化”という多様な手段で、このCIFO組織の行う革新の推進役を担う「CIFO ACCELERATOR」となることを志向して事業活動を行っております。







## AVANT Groupの中期目標

	FY18		FY23
売上高	120億円	➡	180～220億円
ストック売上比率	33%	➡	70%
営業利益	16億円	➡	31～38億円
売上成長率 + 営業利益率	28.5pt	➡	40pt以上
ROE	24.5%	➡	20%以上
配当	12円	➡	30円以上

# 中期経営計画：進捗

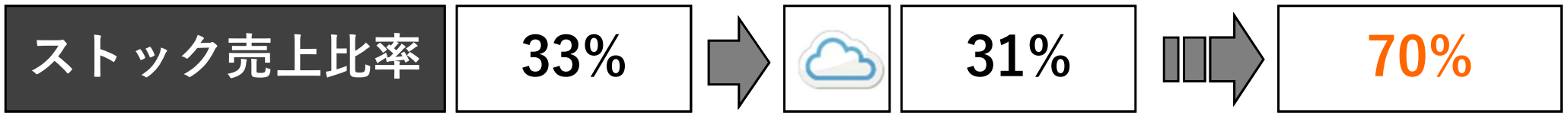
AVANT

ストック売上比率は低下したが、ストック売上高は前年比11.8%増。  
比率向上のための準備段階であり目標に向けて順調に推移

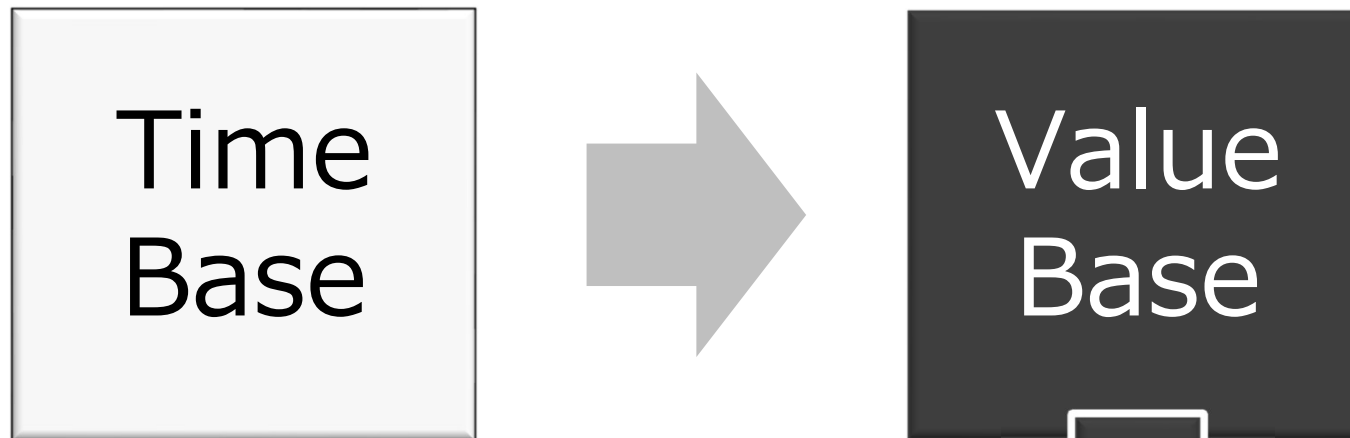
	FY18 実績		FY19 実績		FY23 目標
売上高	¥12.1B	→	 ¥14.1B	⇒	¥18-22B
ストック売上比率	33%	→	 31%	⇒	70%
営業利益	¥1.63B	→	 ¥1.97B	⇒	¥3.1-3.8B
GPP：売上成長率 + 営業利益率	28.5pt	→	 30.2pt	⇒	Over 40pt
ROE	24.5%	→	 24.6%	⇒	Over 20%
配当	¥12	→	 ¥15	⇒	Over ¥30

# 中期経営計画：中核となる指標

AVANT



## 労働時間ベースから価値ベースへの転換



売上規模の拡大

収益性の向上

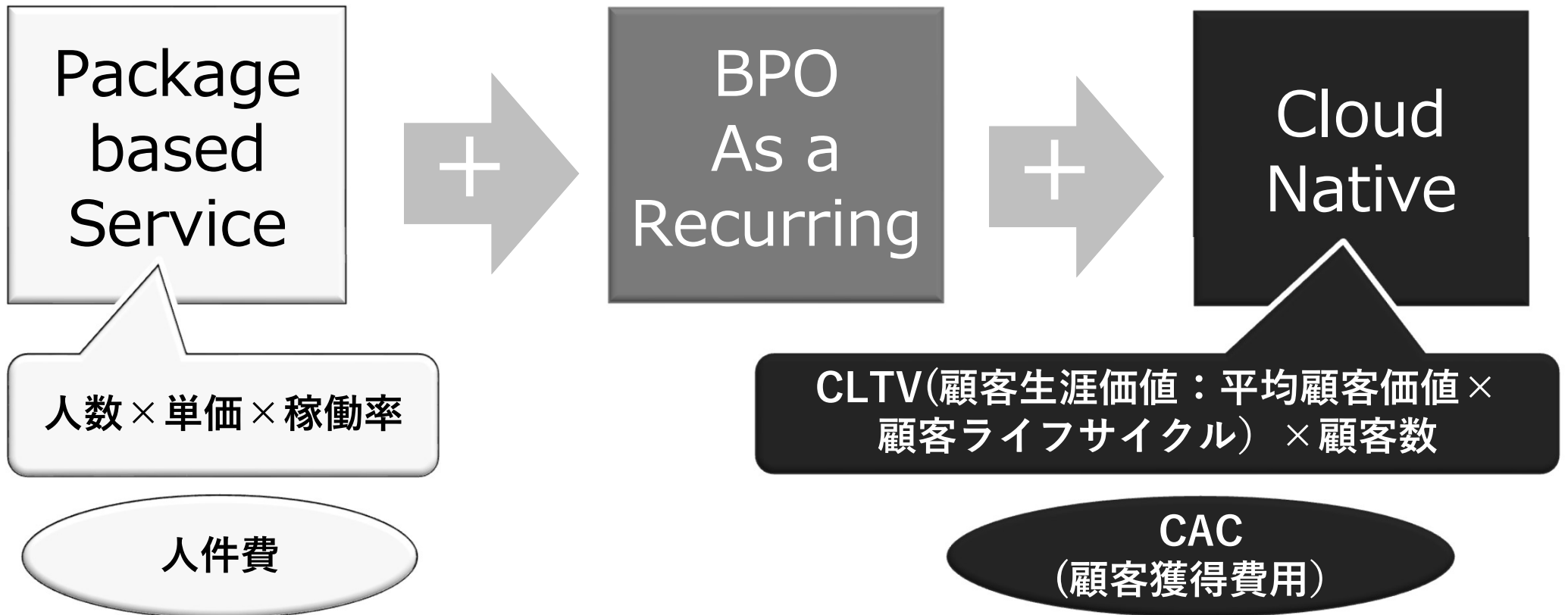
生産性の向上

企業価値の向上

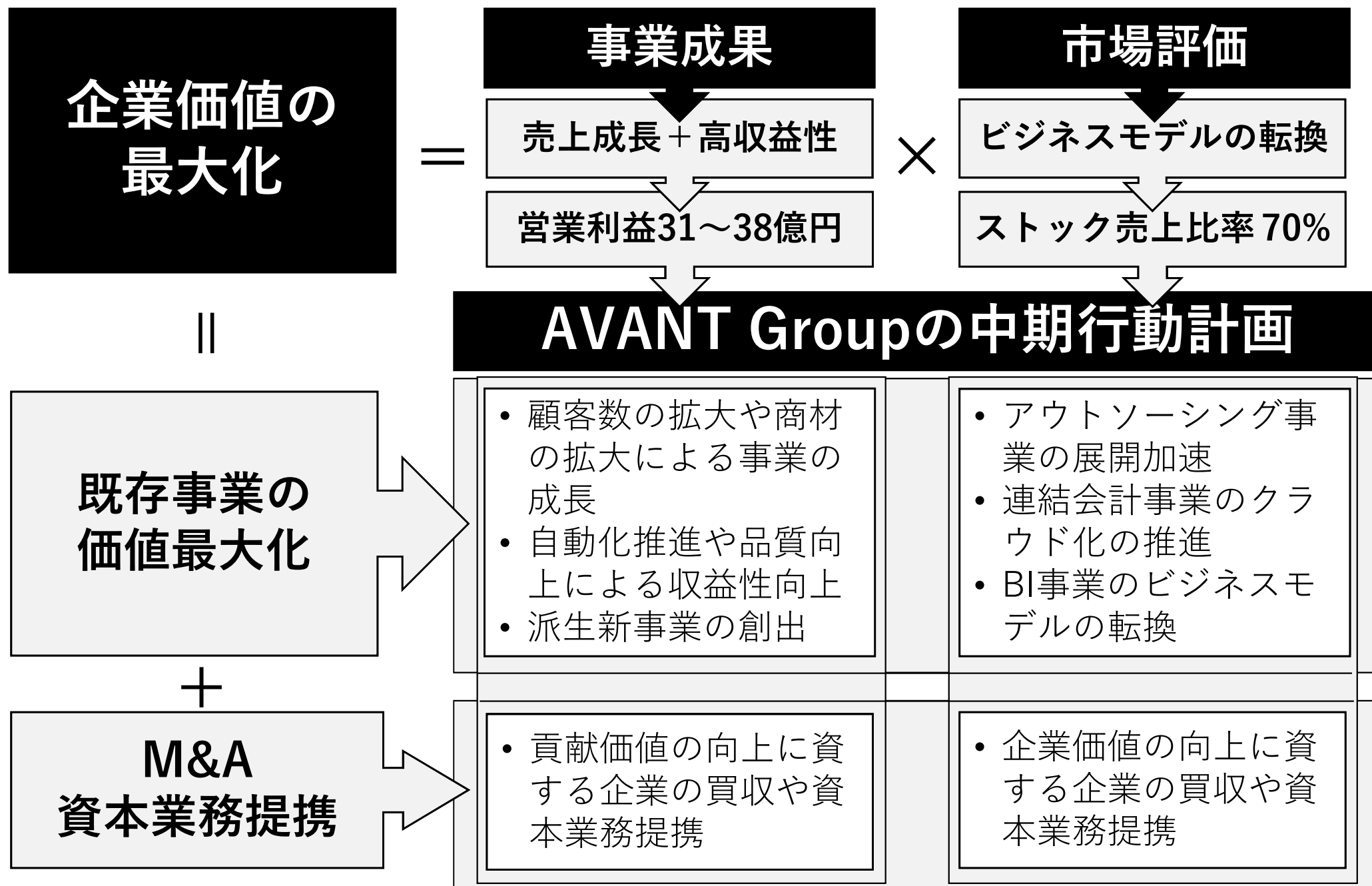
株主還元の増大

従業員還元の増大

## 非連続的なクラウドシフト



クラウド商材を次々にリリースし、**既存顧客** および**そのグループ会社**へと展開する





持株会社

事業会社

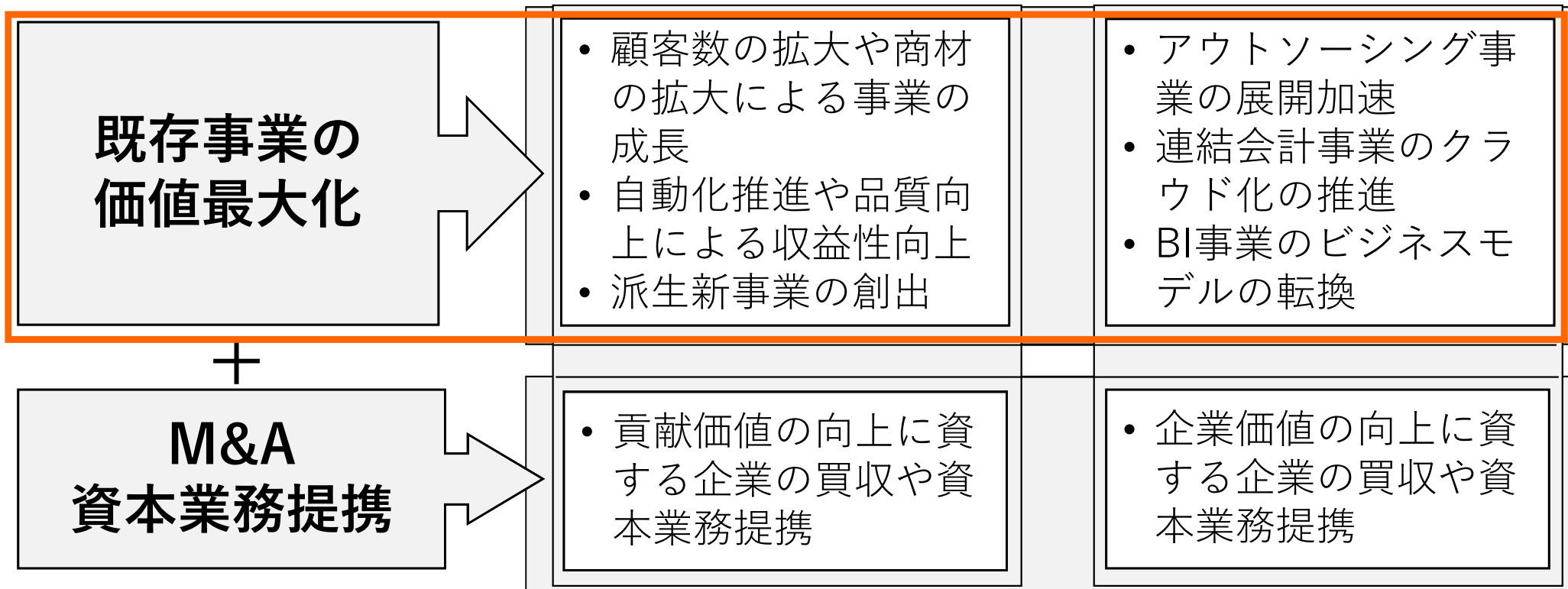
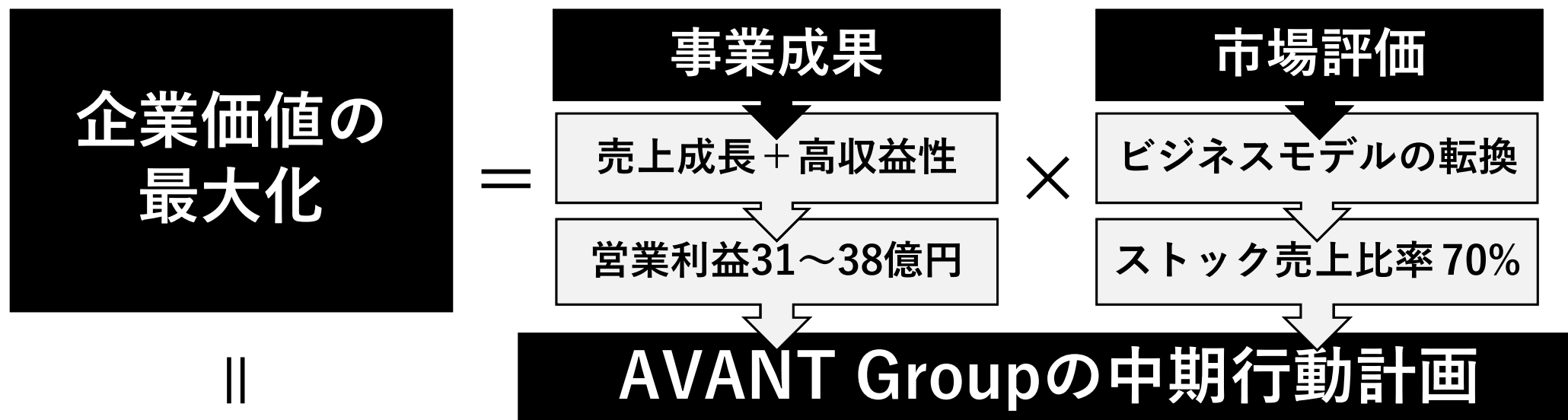


## 【グループの企業価値の最大化】

- グループガバナンスの構築
- グループシナジーを創出する仕組みづくり
- 金融市場とのコミュニケーション
- 既存事業の成長での計画未達部分に対する施策の実施
  - ✓ 外部成長の取り込み
  - ✓ 新規事業への投資

## 【各事業の事業価値の最大化】

- 各事業のお客様への貢献価値の最大化に集中
- 各事業の事業計画の達成
- 各事業で設定した目標達成のためのビジネスモデル転換
- 各事業で蓄積したナレッジを元にした新商品の開発



# 中期経営計画：達成への道程

AVANT

## 連結会計事業

ストック  
売上比率

FY19実績

38%

FY23目標

50%

## FY19 主要成果

- 超大型プロジェクトが一区切り
- 新クラウド製品「Planning」の販売好調
- 新製品開発パイプラインの確立
- 開示書類チェックサービスの大手監査法人への導入決定

## FY20 取り組み

- Planningのさらなる拡販
- 新規クラウド製品「Compass」のリリース
- グループ経営ソリューションのさらなる拡充

# 中期経営計画：達成への道程

AVANT

ビジネス・  
インテリジェンス  
事業

ストック  
売上比率

FY19実績

7%

FY23目標

40%

FY19  
主要成果

- 大型プロジェクトの受注が増加
- プライム案件比率が初の50%超過
- Microsoft Power BI案件が好調、Microsoftより国内初のグローバルパートナー認定
- 海外製クラウド製品の国内への新規導入を推進

FY20  
取り組み

- Power BIをプラットフォームとして利用した独自サービス（テンプレート等）の創出
- AWSベースの独自分析基盤「ZEUS」を展開
- 海外製DWHクラウド製品の事業化推進
- クラウドデータ基盤のBPOサービスを展開

# 中期経営計画：達成への道程

AVANT

## アウトソーシング 事業

ストック  
売上比率

FY19実績

94%

FY23目標

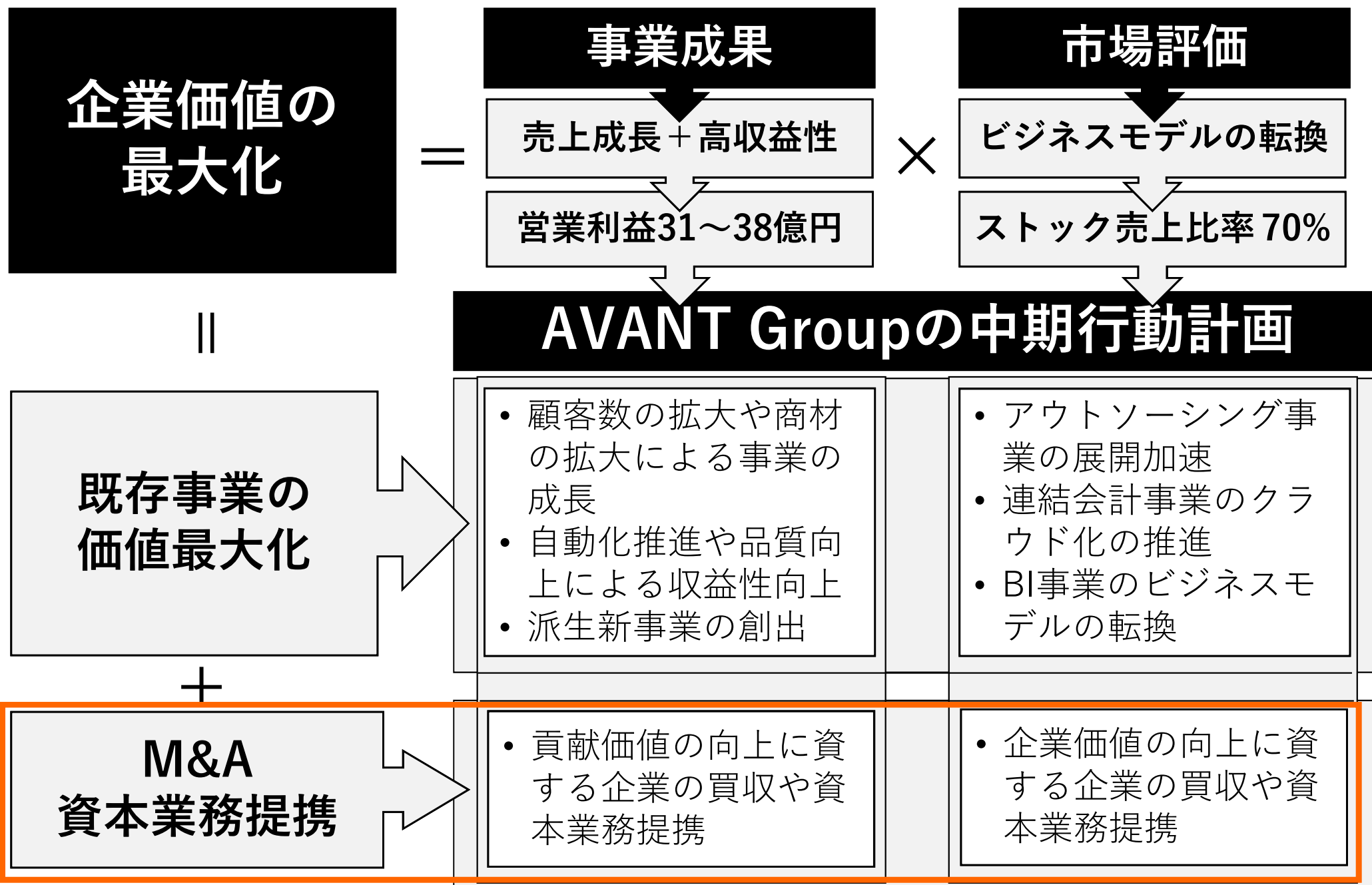
95%

## FY19 主要成果

- 高収益性を維持しつつ、約25%の売上成長を実現
- 外資系ERPベンダー製の連結決算システムを利用したアウトソーシングを初めて受注
- 連結決算以外の領域の売上が拡大  
(資金管理関連で1億円超の売上を達成)

## FY20 取り組み

- 引き続き高成長によりグループ全体のストック売上比率の向上を牽引
- DIVA顧客以外、連結決算以外、海外展開など対象領域を継続的に拡大
- 自動化のための研究・投資も継続



# 中期経営計画：達成への道程

AVANT



## FY19 主要成果

- 事業の方向性  
(コンセプト・方針・ターゲット等) が確定

## FY20 取り組み

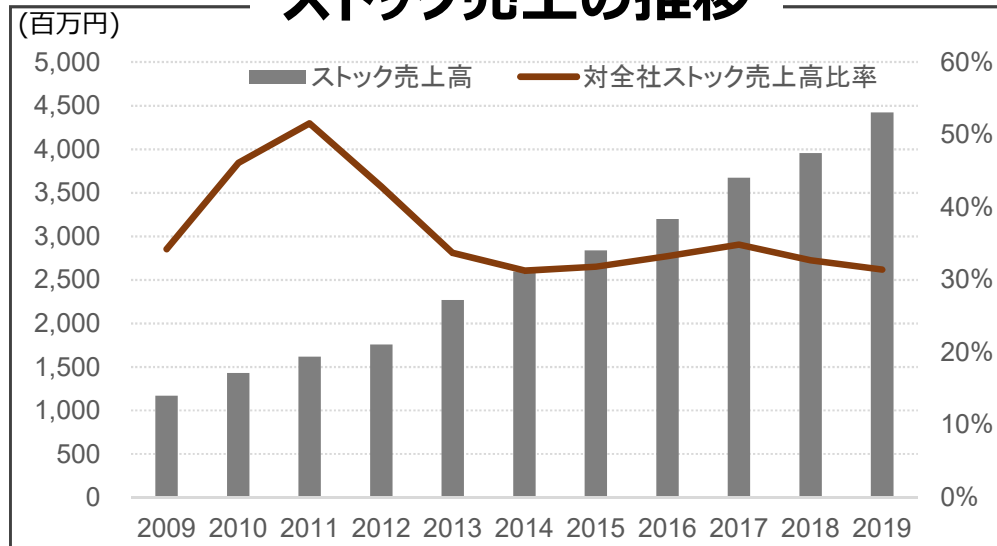
- FY20内に新規事業としての起ち上げ準備を完了させる
- 手段としては内部での投資のみならず、M&A・資本業務提携等も含めて推進する

AVANT

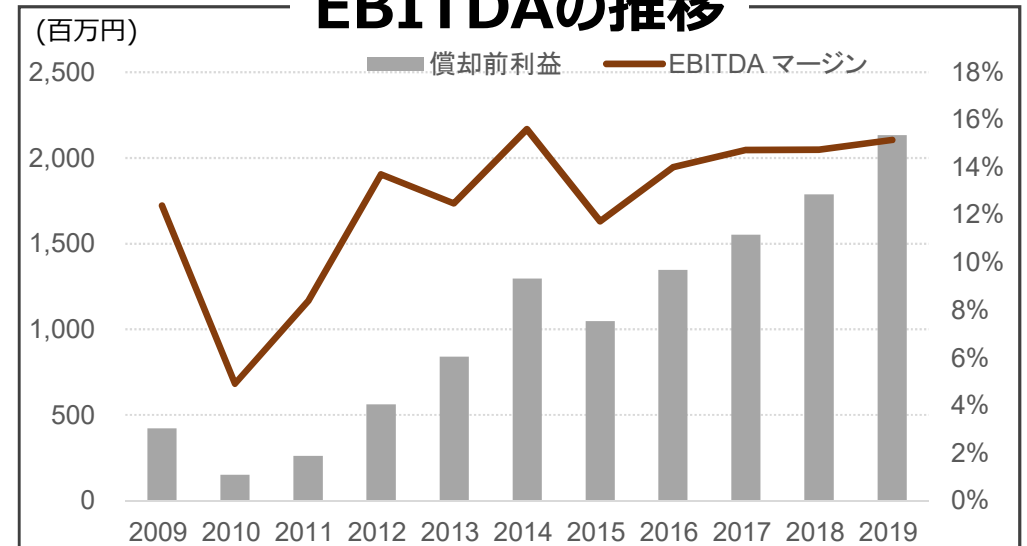


## 当社の重要な経営指標の推移

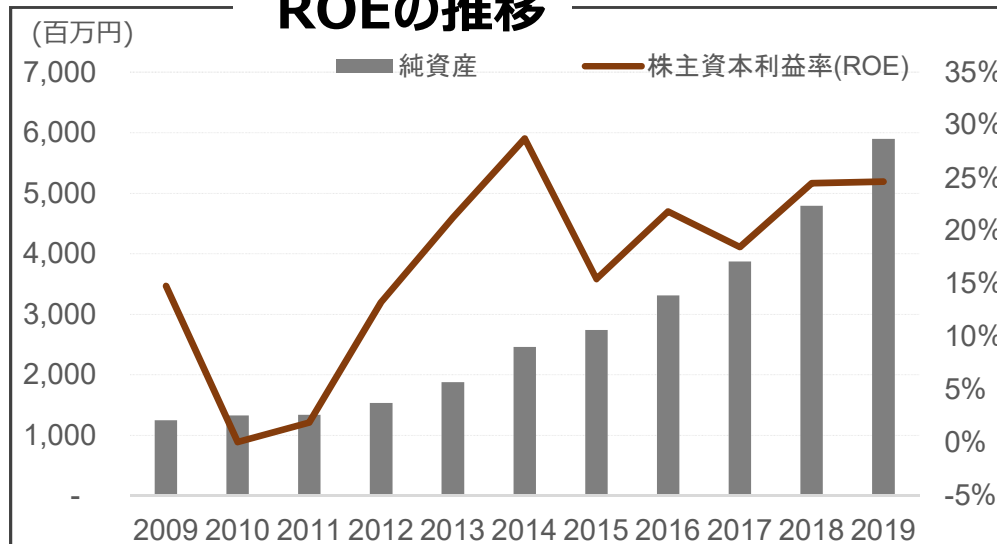
### ストック売上の推移



### EBITDAの推移



### ROEの推移

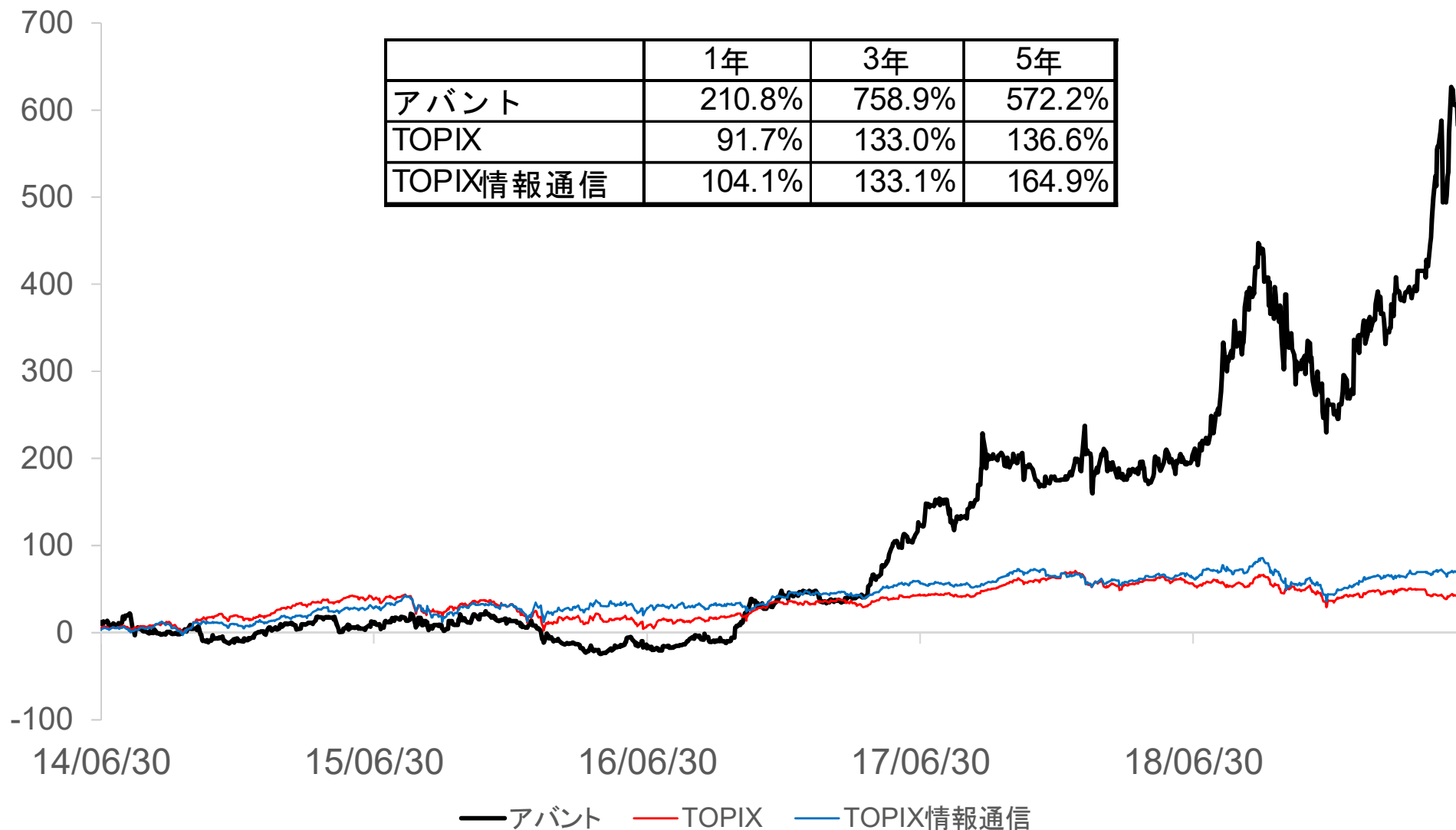


### 営業利益の推移



\* 過去四半期で計算

## TSR



出所:ブルームバーグ